

# 和光

発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700  
国立療養所 奄美和光園  
電話 (0997) 52-6311

平成27年11月1日  
(2015)

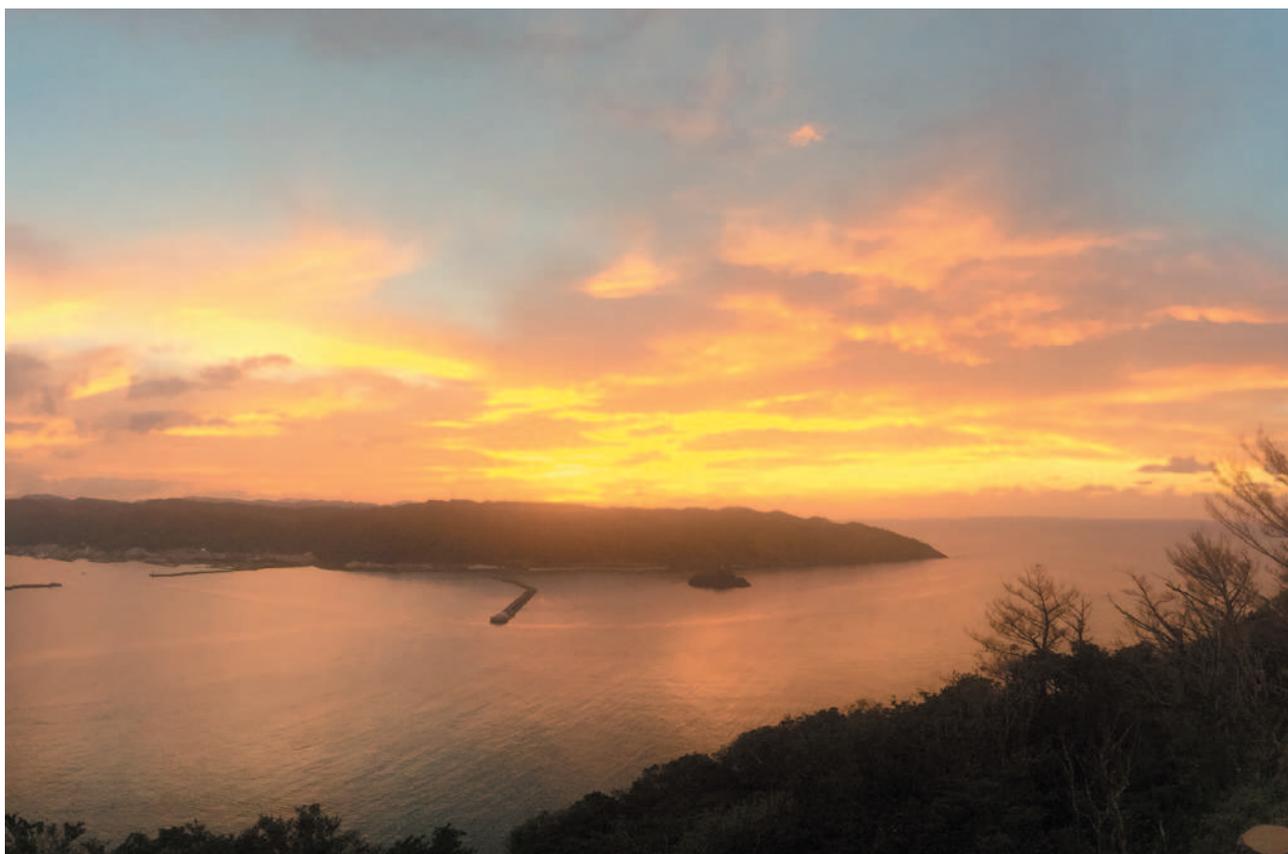
第99号



- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| ■表紙……………1             | ■平成27年度県庁訪問・県内めぐりに同行して…5 |
| ■敬老祝賀会……………2          | ■防火訓練の実施……………6～7         |
| ■「焼き芋会」&「夜のお月見会」……2   | ■園外レクリエーション(西古見)……8      |
| ■「地鎮祭」が執り行われました!……3   | ■ゲートボール大会での初チャレンジ!……9    |
| ■北大島レクリエーションに参加して……4  | ■人事異動・和光園日誌・編集後記……10     |
| ■第69回国立病院総合医学会に参加して…4 |                          |

## 基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境にまつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



大熊港

## 基本方針

1. 入所者個々に応じた医療・福祉を目指します
2. 快適な生活環境と療養生活の充実を目指します
3. 地域との交流を図りハンセン病の啓発活動に努めます
4. 職員の教育・研鑽に努めます



# 敬老祝賀会



残暑厳しい中、9月10日当園講堂にて敬老祝賀会が開催されました。

この日は、入所者の方を含み約100名の出席を頂きました。

加納園長から「これからも安心して日々を過ごし、1日でも多く長生きをして頂きたい」と祝福の挨拶があり、奄美市から80歳以上の入所者25名の方へ、敬老祝い金と記念品が贈られました。

来賓として鹿児島県大島支庁長、奄美市長(代読)からこれまでの入所者への敬意を表する祝辞を戴きました。

余興の部では、入所者の方によるカラオケのほか、職員による踊りや歌の出し物を披露。舞台では、歌謡曲「どうにもとまらない」に合わせコミカルに踊り出すと、講堂内は笑い声に包まれて大いに盛り上がりました。最後は全員参加による「島のブルース」の合唱と六調を踊り閉幕となりました。

来年も入所者の皆様が、元気で敬老祝賀会を迎えられますよう願っております。

福祉室 井上 清仁



## 「焼き芋会」& 「夜のお月見会」

9月25日(木) 17:30~19:00までの約2時間、ゲートボール場において、焼き芋会&夜のお月見会が行われ、入所者14名と職員25名が参加しました。当日のお芋の焼き具合についてはサービス委員が事前に入所者全員に希望を聞き、蒸し芋希望者には給食室職員に蒸して頂き、焼き芋希望者にはボイラー室職員がバーベキュー用の焼き器と木炭で香ばしく焼いてくれました。焼きあがったお芋を参加者全員でその場でほおばりました。とてもおいしかったです。

焼き芋の香ばしさに秋の訪れを感じました。皆で楽しんでいる内に月が見えてきて中秋の名月を眺めることができました。今回は、サービス委員が事前に調べた長期天気予報が役に立ち、予報通り天候に恵まれ最高のひと時を皆で過ごすことができました。

看護サービス委員

傳 幹廣・久永 あや子

# 「地鎮祭」が執り行われました！

施設整備（工事）で現在居住者棟の建替え工事を行っています。新築する居住者棟の地鎮祭を9月28日（月）に執り行いました。

当日は朝から大降りの雨…。神事である地鎮祭を中止するわけにはいきませんので、参加者の移動等が心配で心配で。神様へお祈りの前に別件の「神頼み」をしていました。この神頼みが通じたのか、正午前に上がった雨は青空とともに爽やかな風を呼んでくれました。

開始時間に合わせ、園長、総看護師長をはじめ、入居予定の入所者、関係部署職員、工事関係者が式場に集まり始めました。工事関係者以外にとっては滅多に参加出来る行事ではありませんので、開式を前に全体の大まかな流れを神主が説明しました。そして手水廻しのあと、13時30分地鎮祭が始まりました。地鎮祭の式次第に沿って厳かな雰囲気の中で進行していきました。

ほとんどが「神主」が行う儀ですが、「地鎮の儀」と「玉串拝礼」は施主や入居者が行います。「地鎮の儀」では、加納園長が鍬入れを行いました。「玉串拝礼」ではまず始めに園長、続いて総看護師長等、そして入居される入所者が玉串を奉納しました。車椅子での参列ではありましたが、新居への期待感に包まれしっかりと「二礼二拍一礼」をされていました。最後は、「御神酒」により式を締めました。

完成は来年（28年）1月末。今は地味な地盤や基礎の工事で見ただ目にも工事進捗が分かりづらい時期ですが、柱が立ち始めるとあっという間に感じられるかもしれません。地の神の許しを得て、立派で快適な「お家」が建つことを期待しています。

会 計 堀 口 広 文



## 北大島レクリエーションに参加して

9月29日、未だ残暑厳しい頃に入所者の方3名と、職員8名で北大島レクリエーションに参加しました。

大熊から瀬留を經由して笠利町用岬に到着。恒例の「亀さん」の石像にご挨拶をしたかったのですが、風が強くて車中から眺めて目的地へ向かいました。

昼食は宇宿漁港でお弁当を頂きました。お弁当のほか入所者の方がこの日の為に



作って下さった美味しい差し入れで賑やかな昼食となりました。

海風がとても気持ちよく入所者の方も楽しんでいただけたのではないかと思います。帰路の道中ではカラオケで大いに盛り上がりました。園外レクリエーションでの入所者の方々の喜ぶ笑顔を見ることができて、充実した一日を過ごすことができました。

福祉室 有馬 孝



## 第69回 国立病院総合医学学会に参加して

平成27年10月2、3日の2日間、札幌で開催された第69回国立病院総合医学学会で発表させていただきました。今回学会が行われた会場はニトリ文化ホール、さっぽろ芸術文化の館、教育文化会館、ロイトン札幌の計4箇所でした。

「地域でつくる明日の医療～まいにちから、まんいちまで～」というテーマのもとに一般演題2597題（口頭発表597題、ポスター発表2000題）、公演、シンポジウム、展示などがありました。

私たちはポスターセッション「ハンセン病後遺症による難治性潰瘍への炭酸浴剤を用いた足浴の効果」のテーマで、一年間メンバーと取り組んだ研究成果を発表しました。今回初めての学会参加で緊張しました

が、無事に終え、他病院、施設の発表を聴講し沢山の学びがありました。特に同じハンセン病療養所の介護員の発表では、他職種との連携を図った介護力に感動しました。また、興味のある在宅看護、終末期ケアの研究も聴講でき、今回の学んだ事を今後の看護に役立てていきたいと思えます。

最後に学会に参加させて頂いた園長先生、総看護師長、ご指導頂いた馬場先生、この研究に協力して下さった入所者、職員の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

治療棟 榮 珠美

## 平成27年度 県庁訪問・県内めぐりに同行して

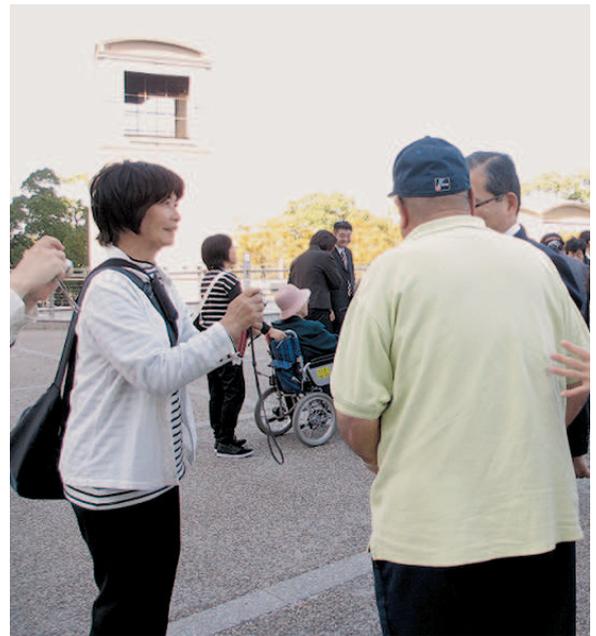
10月13日～14日、鹿児島県主催の「平成27年度県庁訪問及び県内めぐり」が開催されました。参加者は、当園から1名、多磨全生園から2名、菊池恵楓園から3名、星塚敬愛園から13名、同行者は各施設職員、家族・県職員など21名の総勢40名が、3台のバスに分乗して行程表に沿って楽しく観光して回りました。

初日は観音滝公園を回りガラス工芸館見学後、宿泊場所の「CoCoフォレいむた」にて入浴等自由行動後、夕食・懇談会が催されました。同じテーブルを囲みながら同郷の方々との久々の会話では「よう！元気だったか？〇〇〇は元気にしているか？」等、あちらこちらで会話が飛び交い、自慢のカラオケもあり、とても賑やかで楽しい時間を過ごされました。同行者の私も一緒に参加できたことが嬉しく感謝の気持ちで一杯でした。



2日目は江口浜・江口蓮菜館、奄美の里を午前中に回りました。それぞれの場所で、それぞれに一杯のお土産を買われ大賑わいで、あっという間に時間が過ぎてしまいました。午後から伊藤鹿児島県知事との懇談会があり、入所者代表がお礼の挨拶や今後のハンセン病施設の要望、

質問が交わされたのち記念撮影がありました。記念写真を撮る瞬間、今まで静かに美しい景色をかもし出していた桜島が突然、噴火したのが印象に残っています。伊藤知事とツーショットでの記念写真を撮られたSさんもいい表情でした。



年々、参加者が減っていると聞きます。このような計画が行われることで遠くの入所者の再会・交流が図られ貴重な時間となることを痛感しました。これからも入所者の方々が継続して参加されることを願っています。最後に名瀬保健所の職員や県庁舎の職員・関係者の方々の盛り沢山の計画や配慮に感謝します。

病棟 仲田 ノリ江





# 防火訓練の実施



去る10月21日(水) 13:30より、平成27年度第1回目の防火訓練を実施いたしました。今回の訓練種目は総合訓練(通報、消火、避難)、時間帯を昼間(甲編成)、出火場所をゆらいの郷9号室、模擬入所者4名(ベッド1名、ストレッチャー1名、車椅子2名)という想定で計画いたしました。

訓練日時の設定において出火元とされる職場長と、

相手：「計画ば聞いたときはたい、気付かんかったばってんたあ、21日は風呂日だけん別ん日に変えっくれんね。」

自分：「ばってん、幹部の揃う日がこん日しかなかけんむっ(無理)ですもんね。」

といった論争(本人たちは標準語のつもりです!)をしていたところ、「風呂日に火災が発生したと考えなさい!」と有り難い天の一声があり、当初の計画とおり21日に実施することが出来ました。関係部署の方々ご協力ありがとうございました。

当日は消防署の方が3名立ち会って頂いたこともあり、訓練に参加した職員の表情にもいい感じに緊張、緊迫感が漂っておりました。

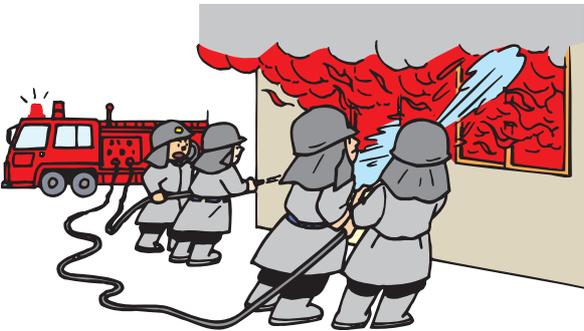
訓練は、ゆらいの郷の看護師の「9号室が火事です」の一声に始まり、初期消

火、庶務への通報、各部屋の点呼、自衛消防隊到着、屋内消火栓による消火、避難誘導、物品搬出といった順に行われました。なお些細な不手際はあったものの、全体を通してはスムーズに出来たのではと思っていましたが、思いに反し消防署の方の講評では「避難放送があったが火元の隣の病棟は、直ぐに避難を開始しなかった。」「火元付近に屋内消火栓があるにもかかわらず遠くの消火栓を使用した。」などプロ目線の鋭い指摘があり、身の引き締まる思いでした。今回の訓練において発生した諸々の問題点は、精査して今後訓練を計画する際に生かしていきたいと思えます。

講評の後に消防署の方による屋外消火栓、消火器の取扱説明があり、実際に消火栓、消火器を使つての訓練を新参者中心に実施しました。

消火器取扱説明の中で、「消火活動を行ううえで重要なことは、まず消火に携わる本人の逃げ道を必ず確認、確保して消火活動を行うことです」と、消防署の方が説明されたことが印象深かったです。目先のことだけに捕らわれず、大局的に物事を見なければいけない・・・実際に火災に遭遇した際の教訓にしなければと感じました。

庶務 島田 登志男





10月29日(木)に西古見へのバスレクリエーションが行われ、入所者7名、職員8名が参加しました。午前9時に和光園を出発し、途中住用マングローブ園にて休憩をとり、12時頃に目的地の西古見の展望台に到着しました。西古見までの道のりはとても長く曲がりくねった山道を進んで行きました。長いバスでの移動にも関わらず入所者の皆様は元気で疲れた様子もなくバスの中での会話を楽しまれていました。この日は10月とは思えぬ暑さと晴天に恵まれ、展望台からは加計呂麻島、請島、与路島、さらには徳之島まで見渡すことができ、島々と海の美しく雄大な景色をみんなで楽しみました。その後、展望台近くの景色のいい広場に移動し、みんなでお弁当を頂きました。天気の良いさと屋外で食べるお弁当に皆様の箸も進み、「食べ過ぎたー」など

の声も聞かれていました。

帰りのバスの中では、疲れも見られず紅白歌合戦さながらのカラオケ大会が繰り広げられました。長いバスの移動でしたが、お元気な入所者の皆様と素晴らしい景色を楽しむことが出来たレクリエーションでした。

病棟 大黒 将志



# ゲートボール大会での初チャレンジ!

私は今回、初めて和光園Bチームのメンバーとしてゲートボール大会へ参加させて頂きました。

ゲートボール大会では、たくさんの地域の方々が足を運んで下さり、我が和光園A・Bチームを含めると14チームも集まって頂きました。ありがとうございました。そのおかげでゲートボール場では開会式前からとても賑わっていました。その賑わいの中で開会式が始まり、さあいよいよ試合の始まりです。



まず印象的だった事は開会式後のメンバーの方々のテキパキとした各試合の進行です。私自身、ゲートボールのルールは理解してはいたのですが、このような大会は初めての経験で、どのように動けばよいのか分からずにいました・・・しかし、何もせずとも試合が流れるように進行していくのです。いかにも事前に打ち合わせがあったのかと感じるほどの出場者・審判者方の動き、かつ審判をされている方のプレー開始の勇ましい声と進行の上手さ。これには驚きました。またもう一つ驚いた事は皆さん、ゲートボールが上手なこと、上手なこと!チーム内では指示が飛び交い、様々な戦略があり、素人ではついていけないペースで試合が展開されていた事を覚えています。このような文章では表す事が出来ず申し訳ないのですが、一言で伝えるなら“すごい”と思うようなプレーをたくさん拝見させて頂きました。

私自身もプレーする身だったのでそのプレーを観ながら内心、“勝つぞー”という心を燃やしていました。そして、とうとう出番です。我が和光園Bチーム!ゲートボ



ールは初心者の方が多かったんですが結果はなんと!一勝も出来ませんでした。が、しかし、その試合の中には様々な勇姿もありました。和光園Bチーム入所者の方の一打、プレー開始直後の呼吸の音さえ聞こえないような静まった空間での一打目、当たり前のように1ゲートを通していく姿、終了時間に近づいてチーム内の調子が上がってきたようなタイミングでのするどい空振り、明らかに狙ったように自分の足を打つ姿、その姿から得られた事は審判および敵チームでさえも味方のチームのように和光園Bチームへアドバイスをする姿。明らかに3笑はありました。少し話は変わりましたが、和光園Bチームも初心者が多い中で一生懸命戦い抜いた事が良い思い出となっています。

こんなに楽しいときを過ごす事が出来たのも、また私にとっては新たなチャレンジが出来たのも地域の皆様をはじめ、当園入所者の方およびスタッフのおかげだと感じています。来年もこの時を楽しみにしたいと思います。

作業療法室 中川 恭兵



## 人事異動

(平成27年9月1日～平成27年10月31日)

H27. 9. 15	下川 満	看護助手 (期間業務職員)	復職 (育児休業)
H27. 9. 30	山路 郁美	看護師	任期満了 (臨任)
H27. 10. 2	山路 郁美	看護師	採用 (臨任)
H27. 10. 31	今里 百合子	看護師	任期満了 (臨任)

## 和光園日誌

(平成27年9月1日～平成27年10月31日)

- H27. 9. 1 施設訪問  
奄美病院職員、日本教育専門学校及び奄美病院実習生
- 9. 8 施設訪問 日本教育専門学校専任講師・卒業生
- 9. 10 敬老祝賀会
- 9. 17 一般入院 89才男性
- 9. 18 施設訪問 金久中学校教職員生徒
- 9. 28 居住者棟更新整備工事に伴う地鎮祭
- 9. 29 入所者園外レクリエーション 北大島 (龍郷町・笠利町)
- 10. 15 一般入院 65才男性
- 10. 17 親善グートボール大会
- 10. 21 防火避難訓練
- 10. 29 入所者園外レクリエーション 南大島 (瀬戸内町・宇検村)

編

集

後

記

季節が移り変わるのは早く、原稿を書いている今日は冬至の12月22日。この日はかぼちゃを食べる習慣があります。元々はこの時期に食材が乏しくなる為に栄養状態が悪くなり“一年で最も昼間が短く夜が長い為に死に最も近い日”と、言い伝えから夏野菜なのに保存に利く栄養価の高い食べ物としてよく食べられてきたそうです。また最後に『ん』の付くことから『運』を味方につけるげん担ぎの意味もあるそうですよ。冬至の七種 (ナナクサ)【南瓜 (ナンキン)、蓮根 (レンコン)、人参 (ニンジン)、银杏 (ギンナン)、金柑 (キンカン)、寒天 (カンテン)、饅頭 (ウドン)】を食べて寒い冬を元気に乗り切りましょう!

編集委員 和氣 輝忠